

### 第3回幕張新都心まちづくり将来構想懇話会 開催結果

1. 日 時 2022年3月2日(水) 13:00~14:30
2. 場 所 Web開催
3. 参加者 <<有識者>>5名(五十音順)  
田中里沙 委員、土肥武司 委員、豊田啓介 委員、馬場未織 委員、  
広井良典 委員  
  
<<関係者>>4名(五十音順)  
遠藤峰志 委員、金親芳彦 委員、島田達人 委員、丹羽信博 委員  
ご欠席：田村聡明 委員、遠山孝行 委員  
  
<<千葉市>>3名  
神崎広史 総合政策局長、勝瀬光一郎 未来都市戦略部長、  
志村佳貞 幕張新都心課長  
  
<<運営事務局>>1名  
横山聡(株式会社三菱総合研究所 主任研究員)
4. 議 題
  - (1) 開会挨拶
  - (2) 全体討議
  - (3) その他
5. 議事概要
  - (1) 開会挨拶  
千葉市より開会挨拶を行った。
  - (2) 全体討議  
【第1部】千葉市による幕張新都心まちづくり将来構想(原案)説明の後、「将来構想(原案)の内容に関する意見(主に第7章「まちづくりの方向性」について)」というテーマで有識者、関係者と討議した。  
【第2部】「将来構想(原案)を踏まえ、幕張新都心に期待すること(専門的知見、立場からの助言や懇話会全体を通じた感想含む)」というテーマで有識者、関係者と討議した。
  - (3) その他

千葉市から全体討議に関する感想を述べた後、事務連絡を行った。

## 6. 会議経過

～以下、議事要旨～

### (1) 開会挨拶

(千葉市) 開会挨拶を行った。

開会挨拶	
神崎 総合政策局 長	<p>皆様には、日ごろより市政各般にお力添えをいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。また、本日はご多忙の中、第3回幕張新都心まちづくり将来構想懇話会にご出席を賜り誠にありがとうございます。</p> <p>これまでの懇話会を振り返りますと、昨年6月に開催されました第1回の懇話会では、将来構想の骨子案をもとに今後想定される都市のまちづくりに関する将来変化や幕張新都心で生活して感じる課題や期待、という視点からご意見をいただきました。</p> <p>また、11月に開催された第2回の懇話会におきまして、より良い幕張新都心に近づけるため、幕張新都心をさらに成長・発展させるために必要な取組、具体的なアイデアにつきましてご意見をいただいたところでございます。</p> <p>今回、第3回の懇話会では、次第にありますとおり、これまでにいただいた意見等を踏まえまして、張新都心まちづくり将来構想の原案をブラッシュアップしておりますので、第1部におきまして、構想原案に対し、ご意見をいただきたいと存じます。</p> <p>さらに第2部では、改めて幕張新都心に期待することといたしまして、皆様からご助言、ご提案、ご感想などをいただきたいと考えております。</p> <p>ご案内のとおり、今回の懇話会が最終回となります。14時30分までということで、限られた時間ではございますが、是非忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。開会にあたっての挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いいたします。</p>

### (2) 全体討議

【第1部】と【第2部】に分け、それぞれ意見交換を行った。

【第1部】	
田中委員	<p>田中でございます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>これより、全体討議第1部に入りたいと思います。最終回ということになっておりますので、忌憚のないご意見を、限られた時間ですけれども、闊</p>

	<p>達に行っていただければと願っております。</p> <p>それでは、まず千葉市から、幕張新都心まちづくり将来構想原案について、ご説明をいただければと思います。千葉市幕張新都心課長 志村課長、よろしく願いいたします。</p>
<b>幕張新都心まちづくり将来構想（原案）の説明</b>	
志村幕張 新都心課長	<p>千葉市幕張新都心課長の志村でございます。本日は皆様お忙しい中、この懇話会に参加いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>昨年2回の懇話会を開催し、皆様から多くのご意見を頂戴いたしました。また、これまでの間、幕張新都心の将来について、住民や学生、このまちで勤務されている方などを対象としたワークショップを開催し、また、様々な関係者の皆様にご意見を伺いながら前回お示しした将来構想原案をより良く練り上げてきたところです。</p> <p>これより、策定作業を進めてまいりましたこの原案についてご説明したいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>早速ですが、この将来構想原案につきまして、前回お示ししたのものから大きく変更を加えた点を中心に、今日はお話させていただきます。</p> <p>まず、3枚目の「将来構想について」をご覧ください。これは、本市の計画体系の中でこの張新都心まちづくり将来構想がどのような位置づけになるかを明示したものとなります。</p> <p>左側に総合計画の三角形がございます。市政運営の指針として、恒久的な都市づくりの基本理念、基本目標となる基本構想が一番上にあり、これを実現するための基本方針や今後の施策展開などを示す、基本計画になるものがございます。これらに即す形で、幕張新都心まちづくり将来構想を策定するものです。</p> <p>この将来構想の役割は、右上にあります通り、まちづくりの方向性を示し、多様な関係者とみんなで共有するための指針、多様な関係者と共有したこの将来構想を各主体が積極的に取り組むとともに、連携・協働の好循環によりさらに取組を推進するものです。</p> <p>位置付けといたしまして、本市総合計画と連携、整合を図るとともに、将来構想の実現に向けた具体的な事業を本市の実施計画に位置付けていくものです。</p> <p>また、各部門が策定している個別部門計画と連携することにより、分野横断的な将来構想として推進していきます。</p> <p>また、内容といたしましては、おおむね20年から30年後の将来を見据えたまちづくりの方向性を示すもので、将来の様々な変化や動向をふまえ、必要に応じて見直すこととしております。</p>

そして、この将来構想は、幕張新都心における多様な関係者の皆様と共有し、様々な取組を実施してまいりたいと考えております。

続きまして4枚目をご覧ください。この将来構想の対象範囲を図で明示したものとなります。図のとおり、青の点線で囲われた区域を将来構想の対象区域といたします。

次に、5枚目の目次をご覧ください。前回の資料では全8章から成っております。その中で、関係者・市民の想いと、有識者の意見をそれぞれ章立てしてはいたしましたが、全体構成のバランスを考慮し、それらをひとつにまとめ、「幕張新都心への想い・声」とし、全7章としたものです。

続きまして、第1章「幕張新都心が目指したもの」から、第4章「考慮すべき将来の変化」につきましては、これまでと大きな変更はございませんが、いただいたご意見やご指摘を踏まえ、表現、グラフや表、挿絵などを適切なものとなるよう修正しております。

続きまして、少し飛びますが、20枚目のスライドをご覧ください。ここから22枚目のスライドまでが、先ほど申しましたように、幕張新都心への想い、声ということで関係者・市民の想い、有識者の視点ということ、3つの観点から3枚のスライドにまとめたものとなります。

それでは23枚目のスライドをご覧ください。第6章、「目指すべき姿」となっております。これからのまちづくりに向けた、目指すべき姿をどのように示すのか、その関係性を示したものです。

幕張新都心が発展していくまちであり続けるため、このまちで活動する上で大切にすべき考え方を「まちづくりの理念」として示します。この、まちづくりの理念の実現に向けて、重要となる3つの要素を、新規性・先端性、多様性、都市経営、と示し、この3要素が好循環する姿を幕張新都心のありたい姿として目指していきます。

さらに、この幕張新都心のありたい姿へ向かうための取り組むべき7つの方向性を、まちづくりの方向性として位置付けることといたしました。

それでは、24枚目をご覧ください。「まちづくりの理念」となります。この幕張新都心の歴史と発展の経緯を踏まえつつ、このまちで活動する上で大切にすべき考え方を「未来を追い求めてチャレンジを繰り返し、ここにしかない新しさが生まれるまち」といたしました。

前回では、まちづくりの理念といたしまして、2つお示ししておりましたが、理念が2つでは覚えにくい、伝わりづらい、といったことから、このように一つに整理することとしたものです。

続いて、28枚目をご覧ください。まちづくりの理念の実現に向け、重要となる3つの要素が好循環する姿を幕張新都心のありたい姿として示すも

のです。3つの要素は、骨子案や前回案と変わらず、幕張新都心から新しいコト・モノを生み出す「新規性・先端性」、多様な人・活動を受け入れ応援する「多様性」、この2つの循環をより高めるため、様々な主体・住民が協働しながら持続的に成長するための仕組み・基盤を整える「都市経営」といった姿を目指すものです。

そして、千葉県や首都圏の拠点でもあるこの幕張新都心の好循環は、さらなるまちの活性化や発展を促し、その効果が広く波及することに繋がるものと考えております。

次に、29枚目です。第7章「目指すべき姿へ向かうために：まちづくりの方向性」です。ここでは、幕張新都心の持つ機能「職・住・学・遊」をさらに伸ばし、ありたい姿へ向かうために取り組むべき方向性を7つに整理しています。そして、それらの方向性ごとに「取組の方針」を示すとともに、「取組イメージ」を例示することで、多様な関係者と皆さんでまちづくりの方向性を共有し、それぞれが連携しつつ、積極的な取組を実施していくものとして、お示しするものです。

7つの方向性そのものは前回と変更ありませんが、これまで幕張新都心らしさを構成してきた「職・住・学・遊」に関する4つの方向性と、これらの幕張新都心らしさをより高める「連携」に向けた3つの方向性を合わせて7つ、といった形に整理いたしました。

次に、30枚目となります。この7つの方向性と、それらに基づく取組を実施していくことで、幕張新都心の将来の姿のイメージとなるよう、一枚のイラストにまとめたものとなります。

幕張新都心の、目指すべき姿へ向かうためのまちづくりの方向性について、幕張新都心で活躍される方々が共有し、それぞれが積極的に取り組むことで、図の吹き出しにあるように、幕張新都心にたくさんのチャレンジが集まり、ここにしかないうれしい新しさを感じることができ、また、たくさんのコミュニティの輪が広がり、連携が進むことで、日常の生活の中に、学びの場や挑戦のきっかけが溢れ、また、実践していくことに繋がることを目指すものです。

そこで、31枚目から37枚目のスライドでは、これら7つの方向性それぞれについて取組の方針を示すとともに、その方針に向けた、取組イメージを例示しております。幕張新都心に関わる様々な関係者により、ここに記載しておりますような取組を促し、それぞれが積極的な取組を実施していくことで、まちづくりの理念の実現に向けて重要となる3つの要素を達成できるものと考えております。

最後に、38枚目のスライドになります。ここでは7つの取組みの方向性

	<p>と、そのイメージについて、幕張新都心の各エリアでどのような検討が必要かを示すため、そのイメージとして整理したものとなります。</p> <p>エリア全体に係る取組や、広域連携に係る取組については楯円で、各地区における取組については四角で囲い、先ほどの取組のイメージから抜粋して記載しております。</p> <p>記載にあたりましては、幕張新都心のまちづくりにあたり、まず検討していく必要があるだろうと考えるものを中心に整理しております。</p> <p>簡単ではありますが、内容の説明は、以上となります。これまで、皆様のご協力をいただきながらこのように幕張新都心まちづくり将来構想の策定に向けた作業を進めてまいりました。そして本日、このようにお示しすることができました。改めて感謝申し上げます。</p> <p>私からは以上となります。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<b>第 1 部全体討議</b>	
田中委員	<p>志村課長、ご説明どうもありがとうございました。</p> <p>先ほどのご説明も踏まえて、これまで皆様が議論して下さった内容もこの中に盛り込んでいただいているということですが、この内容に関するご意見の交換から始めてまいりたいと思います。</p> <p>これまでの懇話会や、住民・企業のワークショップの結果も踏まえて、皆様のご意見を反映した今後のまちの発展の姿を将来構想 7 章「まちづくりの方向性」の中で一枚の絵にまとめていただきました。</p> <p>主にこちらに集約されていると思いますので、この図をご覧になりながら、ご意見がありましたらいただければと思っております。</p> <p>これから第 1 部の意見交換に入りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>限られた時間ですけれども、皆様に是非発言いただければと願っております。第 1 部の意見交換は 15 分程度を目途としております。いかがでしょうか。</p> <p>イオンの丹羽様、挙手をありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
丹羽委員	<p>よろしく願いいたします。</p> <p>幕張新都心まちづくり将来構想につきまして、ワークショップであります「マクハリ ミライトーク」ですとか、懇話会にて、有識者の方々、それから私どものような地域関係者のご意見を取り入れながら、原案としてよくまとまっているかと思えます。ありがとうございます。</p> <p>現在、「幕張新都心モビリティコンソーシアム」というものがあります。そちらにおきましても、まちの回遊性向上や、あらたなサービス創出、それ</p>

	<p>から既存資源の最適化を実現することで、来街促進や、住みやすいまちづくりに寄与しようとしておりますが、将来構想と、モビリティコンソーシアムとをリンクさせていくという方向性の認識でよろしいのでしょうか。千葉市様にお伺いしたいと思います。</p>
田中委員	<p>ありがとうございます。それでは、千葉市さんの方からまず回答いただいでよろしいですか。</p>
志村幕張 新都心課長	<p>承知いたしました。</p> <p>今、お話いただいた幕張新都心におけるモビリティや新たな仕組みというものについては、35枚目のスライド、取組の方針の3番目、「エリア全体での一体感を向上させるためモビリティを充実する」といった中で、現在本市が進めております新たなモビリティを導入したり、いわゆる MaaS といったものでこのエリアにいらっしゃる方々に一体的にサービスを提供できる仕組みなどを導入していく、といったことを踏まえて、このようなことを記載しております。以上でございます。</p>
丹羽委員	<p>ありがとうございます。承知いたしました。是非まちに住む方のみならず、来街者の方々にもより回遊しやすいまちづくりということでお願いできればと思います。ありがとうございます。</p>
田中委員	<p>丹羽様、貴重なご意見をありがとうございました。</p>
田中委員	<p>広井先生が手を挙げてくださったので、お願いいたします。</p>
広井委員	<p>全体としては、非常にまとまっていて、これまで出てきた意見も反映されていて、良い内容になっていると思います。</p> <p>これは私の関心に引き寄せたものですが、私が大事だと思っておりましたのは、千葉の学生含め若い世代にとってのソーシャルイノベーションの拠点のようなことで、それは記されていたと思います。</p> <p>それから、やはり海に隣接しているというのは、一つの特徴だと思うので、生態系、環境、脱炭素など、もう少し意識しても良いと思いますが、そういうことも書かれていたと思います。</p> <p>これは多少もっと意識したらよいと思った点ですが、首都圏が急速に高齢化していて、3世代共生型といいますか、高齢者にとっても住みやすいということは、特徴としても重要な点だと思います。</p> <p>新しさという点を強調するのは、私は基本的に賛成なのですが、同時に新しい価値観のみならず、幕張新都心もある程度以上の年数が経ちましたので、成熟だとか伝統といった面も大事にすることもひとつのポイントだと思います。</p> <p>特にここを変えてほしい、ということではないのですが、そのあたりも意識することが大事だと思った次第です。以上です。ありがとうございます。</p>

田中委員	<p>広井先生、どうもありがとうございます。これまでも、ソーシャルイベントチャーについて言及いただいて、今ご説明いただいたようなことも全部包含して、ご意見くださっていたと思います。</p> <p>生態系、脱炭素といったご指摘をいただいていたので、後ほど千葉市さんの方からもご回答いただけたらと思います。</p>
田中委員	<p>続いて金親様、お願いいたします。</p>
金親委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>これまでの懇話会のお話であるとか、様々なワークショップを経て、とてもよくまとまったと思います。</p> <p>スライド 29 の第 7 章「目指すべき姿へ向かうために：まちづくりの方向性」の中で、これまでの幕張新都心と、これから目指すべき幕張新都心の方向性を 4 つと 3 つに分けて、6 番目に「市民参加に関すること」と書いてありますが、住民、企業、様々な主体がこのまちを作っていくんだというところにフォーカスしたのはこれまでになかったまちづくりの考え方、幕張新都心にとってのまちづくりの考え方で、大変評価できるものだと思います。</p> <p>スライド 38 枚目「取組のイメージ整理」の左上に、エリア全体に関わる取組みということで、エリアマネジメント団体の組成あるいは活動による地域価値の創出と書いてあります。今後は民間企業や学校関係者など、地域に関係する人たちが関わりながらエリアマネジメントとしてこのまちを良くしていくと。</p> <p>そのためには、行政側には制度設計といいますか、後押しをしてもらえるような制度を是非作っていただきたい。関わる人たちは、色んな知恵を出しながらそこでうまくやっていく。そのような方向性になっていくと良いと感じたところです。</p>
田中委員	<p>金親様、ありがとうございます。新しい意味付けをいただきました。</p>
田中委員	<p>土肥様、いかがでしょうか。ご発言お願いいたします。</p>
土肥委員	<p>ありがとうございます。全体を見て、まとまっていると思いました。</p> <p>「職・住・学・遊」の 4 本柱についてですが、幕張新都心自体が埋立地のできたまちであることを含めると、学か遊に含まれるのかもしれませんが、文化自体を育てていくという部分も、含んでいった方が良いかなとは思いました。</p> <p>文化を育てていくということが全体をまとめていく可能性があると思っています、このまち自体の魅力を高めていく部分なので、本当であれば、「職・住・学・遊」に芸術の「芸」を加えるくらい、文化に関しての視点を構想の中に盛り込んでもらえるとうれしいのかと思いました。</p>



	<p>後は、全体的にこれを実現するために、デザインしていくという感覚を盛り込めた方がよいと思います。言葉、資料、全てにおいて、この計画自体をデザインしていく、そういう方々をどうやって巻き込んでいくか、というところも必要だと思いました。</p>
田中委員	<p>貴重な観点をありがとうございます。</p> <p>いくつかアイデアをいただきましたので、後程深めていければと思います。</p>
田中委員	<p>豊田先生、いかがでしょうか。</p>
豊田委員	<p>ありがとうございます。多様なご意見をうまくまとめていただいて、良い形になっていると思います。</p> <p>今土肥さんがおっしゃっていたような、新しさに向けた指向性はかなり満たされていると思うのですが、それをいかに蓄積し熟成させていくかということは、幕張新都心のようなところや、美浜区全体、首都圏全体のニュータウンなど、高度成長期に作ったものが今、高齢化して疲れてきてしまっているといったことが顕在化している中で、確かに重要なテーマだと思います。</p> <p>これから社会全体が高齢化していく中で、新しさと熟成など、色々なものの連携、両立というのはすごくチャレンジングなテーマだと思います。そのあたりの指向性も明確に見えるような形になっていると素晴らしいと思いました。</p> <p>例えば「職・住・学・遊」のような生活の領域といったところや、最後のページ「取組イメージの整理」で色分けをしているところですか、そういった構図としての切り分けなどは、制度に落とししていくうえで大事だとは思いますが、しかし、用途地域が明確に分かれているとか、職と住のエリアが分かれているといったことだけではなく、色々なスケールでの混ぜ方というか、その仕組みをどのように具体的に提供しうるのか、実装しうるのか、そのテストベットになっていることが、まちや行政としての価値だと思います。</p> <p>今回、このまとめをしたことを前提にして、そのうえの大方針であると思います。この次の具体的な落とし込みのシステム、技術、特区的な何かしらの緩和の仕組みといった手法をどのようにクリエイティブに作っていいのか、という点で、具体的な方針が次に明確に出ないと、価値がなくなってしまうと思います。次の段階で、具体的、実効的に、とても価値があって人が集まるようなものに、明確につなげていただきたいと、改めて思いました。</p>
田中委員	<p>貴重なご指摘をありがとうございました。</p>

田中委員	<p>続いて、遠藤様、いかがでしょうか。</p>
遠藤委員	<p>まとめていただきまして、ありがとうございます。</p> <p>様々な関係者の方がいる中でまとめたということもあって、少し、総花的な形になってしまっているような気もしています。幕張新都心はどういうまち、ということと言われたときに、一言でなんと答えるか。そういったブランディングをしていくためには、もう少しコンセプトを磨いてゆかなければいけないと感じています。</p> <p>一方で、未来を求めてチャレンジ、新しさといったキーワードが強く出ている点は、これまでの議論の方向を反映しておりますし、とても共感できるところです。</p> <p>もう一点、チャレンジの繰り返しといったキーワードも結構入っていますが、もう少し具体的にどういったチャレンジをしていくのか、というところで、方向性のスライドや、他のビジネスなどを示していく方が、よりそれに向けてコミットしていくのだということが分かると思います。</p>
田中委員	<p>ありがとうございます。皆様にはこのまとめ方について、深読み、理解をしていただいたうえで、発信力、表現力、の観点からご意見を賜りました。</p>
田中委員	<p>島田さん、いかがでしょうか。</p>
島田委員	<p>千葉ロッテマリーンズの島田です。まとめていただいて、ありがとうございます。</p> <p>私からは、この構想の位置付けに関して、念のために3つの視点で確認をさせていただきたいと思います。</p> <p>まず38のスライド「取組イメージの整理」で、公園のあり方について整理されていて、幕張海浜公園やZOZOマリンスタジアムのあり方をどうするか、書かれています。スタジアムのあり方を検討させていただいている私共からは、スタジアムを含む上位概念を千葉市さんに整理していただきたいと別の部局の方をお願いしております。まち全体がどうあるのかという中でひとつの施設としてのスタジアムのあり方が決まってくると思いますので、千葉市さんの中で、今回のこの構想で上位概念をどのように位置づけられるのかということが、確認したいことのその1です。</p> <p>その2としては、スライド31の2番で、取組の方針の例として「スポーツと新しい技術、エンタメの融合」といった話がございまして。全体として、多様な主体が取り組めるまちだといったことですが、規制であるとか、取組を誘発するような制度設計だとか、行政としてどうやったら前に進めていけるのか、というところに踏み込んだ話は、もう少しあった方が良かったと思います。</p> <p>最後に3点目、スライド4ですが、前回までと違って、対象の地域がも</p>

	<p>ともとの幕張新都心側に限定されているので、このあたりもどういった経緯でここまで、と範囲を決められたのか、というところです。</p> <p>以上3点の質問となりましたが、全体を通してのコメントとなります。</p>
田中委員	<p>島田様、ありがとうございます。</p> <p>この部分は、これからの議論を深めるにあたって重要で、確認しておきたいと思います。本案の上位概念としての取り扱いですとか、規制推進の方向性、対象範囲、ここについて、志村課長、この段階でお答えいただいてもよろしいですか。</p>
志村 幕張新都心 課長	<p>志村でございます。ご意見ありがとうございます。</p> <p>順番は逆になりますが、まず、今画面に出ております対象範囲からご説明いたします。</p> <p>幕張新都心というのは、この図の中の着色している部分、青の点線左側の習志野市の区域も含めて、となります。今回は、この中の千葉市の区域を将来構想の対象範囲としつつ、この左下の一部白い部分、現在人が立ち入ることとはできませんが、幕張の浜というものが習志野市側にもあります。</p> <p>そういったことから、従前の幕張新都心と言われた区域の中で、千葉市の区域と今後検討すべき海辺の利活用といったところを踏まえますと、左下の白地の部分も少し含めた区域を幕張新都心の対象区域としたものです。</p> <p>次に38ページですね。ここのZOZOマリスタジアムのあり方、ということ、今、議会に来年度の予算を諮っておるところですが、マリスタジアムのあり方といったものを検討する予定となっております。</p> <p>そちらについては、当然、スタジアムそのものがどのようにあるべきかということはもちろんですが、幕張新都心の中でスタジアムが果たす役割というもの、それは大きいものですから、その幕張新都心におけるスタジアムが持つ力だとか、人を呼び寄せる力、といったものを踏まえながら、まちの中でどういった役割があるのかということも検討することになっております。</p> <p>当然、検討するうえでは、将来構想の方向性、理念といったものを踏まえつつ、検討していくものになると考えております。</p> <p>あわせて、その前にありました31ページ「取組みの方針と取組イメージ」について、そういったものを実施していくのであれば、当然様々な規制等がでてくると思います。現状、国家戦略特区制度についてもこの2番のイメージの3つ目「国家戦略特区制度における規制改革を活用した新たなビジネスの創出」といったことで、本市は目指しております。そういったことがあるのであれば、ご相談いただきながら、いかに実施していくことができるのか、積極的に考えていきたいと思っております。</p>
田中委員	<p>島田様、よろしいでしょうか。</p>

島田委員	<p>すみません、これは個人的な意見になるのですが、最初にご説明いただいたエリアの区分けですが、今回対象から外れた地図の左側のところに、今、千葉県の方で病院を建てています。行政さん同士でなかなか調整が難しいのかもしれませんが、暮らす人間、働く人間からすると、どこが管轄しているのかということとはあまり関係ないので、まちぜんたいの在り方として例えば医療施設を整備する動きがあるなどといったことは、含めて考えた方が良いと思います。</p> <p>後は、新駅に関しても全く触れられていないのは、なぜかなと思いました。なかなか触れるのは難しいのかもしれませんが、現実的には来年開業されると思いますので、そういった新しい動きも考えなくてよいのかと思います。</p>
田中委員	<p>ありがとうございます。志村課長、いかがでしょうか。</p>
志村 幕張新都心 課長	<p>今島田さんがおっしゃられた県の病院ですが、地図上の緑色の幕張海浜公園の白いところが現在、県が病院を建て直しているところですので、そこも今回の区域に含んでおります。私の説明がうまく伝わらず、申し訳ありません。</p> <p>新駅につきましては、35 枚目「取組みの方針と取組イメージ」の1 番の2 つ目「幕張豊砂駅開業による効果の発現に向けて、集客施設等の集積により魅力的でさらなる賑わいを可能とする土地利用の見直し」ということで、その後どのようにまちづくりに活かしていくかといったところは触れさせていただいております。</p> <p>当然、これを本市としても新駅開業の効果がより発揮できるようなことを、より積極的に考えていきたいと考えております。</p>
島田委員	<p>どうもありがとうございました。</p>
田中委員	<p>ありがとうございます。白い部分は排除しているわけではなく、ということと、島田さんがご指摘くださったように、産官のタイムリーな情報交換など、事業ベースの会話というのはなかなか難しいところもありますので、そういったことが今回のコンセプトにあったように循環していければ良いと思うところで、この中でもまた、受け止めて展開いただければと思います。</p>
田中委員	<p>今、案について沢山のご意見を賜りまして、ダイナミックに変えて、ということではなく、表現されていても強調されていなかったり、繋いで書くことより分かりやすくなるのではないかと、といった観点から皆様にアイデアをいただきました。</p> <p>時間の関係もありますので、第 1 部はまずここにて終了とさせていただきます。第 2 部に進んでまいりたいと思います。</p>

<b>【第2部】</b>	
田中委員	<p>皆様から貴重なご意見やご指摘をいただきましたが、次は将来構想原案を踏まえ、幕張新都心に期待すること、そして専門的なご知見を皆様お持ちですので、各立場からのご助言や、懇話会全体を通じた感想も含めて、全体を踏まえたご議論をしてみたいと思います。</p> <p>冒頭にお話した通り、本当に早いもので、今回が最終回になります。将来構想原案を踏まえて、改めての期待、感想、何でも結構ですので、ここから展開していければと思います。ここから45分間となっておりますので、忌憚のないご意見をいただければと思います。</p> <p>第1部で馬場さんをご指名できなかったのが、よろしければ馬場さんから口火を切っていただけてよろしいでしょうか。</p>
<b>第2部全体討議</b>	
馬場委員	<p>大変面白い議論に加えていただきまして、ありがとうございました。</p> <p>私は県内の外から幕張新都心を拝見していたような状態で、欠けたものの少ないエリアだという印象を持っていました。先ほど遠藤さんが総花的とおっしゃっていましたが、つまり表裏一体、というところで、特徴を掴むときに、どうしても幕張メッセだとか、先進的技術のあるエリアがあるというところに吸い寄せられてしまう。最後の絵を見たときに、無いものが無いのではないか、という感じがしました。</p> <p>ただ一方で、無いものを打ち出していくことで、それがフックになって外と連携しやすいのではないかとということもあります。</p> <p>先ほどどなたかが連携と熟成を一緒に進めていくのも大きなチャレンジではないかとおっしゃってました。自己完結型の旧来型の打ち出しになってしまいかねないというところで、深さと飛距離、そのどこに自分たちのエリアで賄えないものがあって、どの人達と手を結びたいか、というあたりが見えてきた方が良くもあります。</p> <p>外に向けての発信の仕方でもう少し綻びを見せていくと、ここと連携するとうちの市、エリアもより強化できるのではないかと、といった取りつきを呼び起こすことができるのでは、といった印象がございました。</p> <p>大変面白いご議論、ありがとうございました。</p>
田中委員	<p>ありがとうございます。そうですね。千葉市の取りまとめ力も大変レベルが高いと思いますし、全てが完結しているというイメージがあったかもしれませんが、最初に丹羽様よりインバウンドや観光も含めて、外から来た人の回遊をどのようにしていくか、ということについてお話いただいたと思いますし、馬場様や皆様には色々なところとの連携、コミュニティですとか、繋がりをどう作るかということにも示唆をいただきました。</p>

	<p>後半も、どのような切り口でも結構ですので、さらに自由にご発言いただければと思っております。</p> <p>前半でも新しさやチャレンジ、熟成と成熟の関係性、バランスをどうやっていくかといった話や、混ぜる、交わるといったことをどう考えていくか、幕張ならではのコンセプトはどうなるのかなど、色々なキーワードがあり、幕張ならではの、という観点もあったと思います。</p> <p>また、実は幕張には海上都市の風情と魅力がある、といったあたりも深堀りするとどうか、脱炭素への展開も含めたお話もいただきました。</p> <p>第1部で、他の委員の方のお話を聞いて、ご自身の見解が広がった部分もあるかと思えます。自由にご意見をいただければと思えます。よろしくお願いたします。</p>
田中委員	丹羽さん、お願いたします。
丹羽委員	<p>ありがとうございます。私からは大きく3つの点、1つ目は情報発信、特に外部向けにつきまして、2つ目はエリアマネジメントについて、3つ目は次世代を担う若者の参画について、意見を申し上げたいと思います。</p> <p>まずは情報発信、特に外部向けについてです。将来構想につきまして、原案が完成し、今後構想に沿って幕張のまちを構成する住民、学校、企業がそれぞれ住みやすい、学びやすい、働きやすい環境がつけられていきます。その中で大切なことというのは、外部の方々に幕張の魅力を伝え、来街者や居住者、進出企業の増加に繋げていくための情報発信や、アピールであると思っております。</p> <p>市のホームページを拝見しましたが、確かにまちづくり将来構想は掲載されておりました。しかしながら、こちらを自主的に確認する方がいらっしゃるのかというと、外部の方、市民の方も含めて、なかなか少ないのではないかと思っております。</p> <p>また、将来構想というのは、立派にまとまっているのですが、内容的に、万人が気楽に読んで理解できるのかというと少しそうではない可能性もあります。ですから、周知の仕方について、工夫されたらどうかと思っております。</p> <p>次にエリアマネジメント体制についてです。今回ビジョンが明確になったならば、どのように推進してゆき、具体的に行動を起こしていくのか、決めていく必要があると思っております。</p> <p>住民、学校、企業、行政の連携というのは不可欠ですので、千葉市様におかれましては、強力なリーダーシップを発揮していただきたいと思っております。</p> <p>最後に次世代を担う若者の参画についてです。将来構想を具現化していくにあたり、実行には私たちの世代ではなく、次世代を担っていく若者や子</p>

	<p>供の参画が不可欠であると思います。</p> <p>まちづくりは、未来を創ることであり、未来を担っていく若者や子供達の意見を取り入れて市政やまちづくりに反映していくことが、将来の住みやすい幕張に繋がっていくと思います。</p> <p>そのために、若者、子供達に参画と自覚を促して、大人とともに課題解決できることを実践し、少しでも自分たちで変えることができた、という実感をもっていただくことが重要だと考えます。</p> <p>幕張新都心には、小学校から大学まで教育機関が揃っており、地域について考えるカリキュラムや、課外活動を導入することで理解が深まるのではないかと考えます。課外活動の際には、学校のみならず、地域住民や行政、企業なども参加することにより、まち全体としての連携も深まり、具体的なイベントの実施時には、大きな推進力になるのではとっております。</p> <p>同時に、未来を担う若者ばかりを注視するのではなく、さきほど広井先生からもお話がありました、今後高齢化が急速に進むことにも留意していきながら、シニア向け政策も確実に実行していくことが望まれます。</p> <p>今回のものを策定したらおしまい、ということではなく、始まりなのだという認識で、今後も進めていただけたらと思います。</p> <p>参加させていただきまして、本当にありがとうございました。</p>
田中委員	<p>3つの観点に整理いただいた明快なご発言をありがとうございました。</p> <p>情報発信についてはこれまであまり出てきていないところがあるかもしれないので、のちほど千葉市様からもコメントをいただけたらと思います。ありがとうございます。</p>
田中委員	<p>ちょうど広井先生のお名前も出たところで、広井先生、ご意見いただけますでしょうか。</p>
広井委員	<p>ありがとうございます。さきほどまでの皆様からの活発な意見を非常に印象深く伺って、実質的な議論が出ていて良いなと思っておりました。</p> <p>感想に過ぎないのですが、今まで伺っていて、私の関心から言うと、よく成長から成熟へ、というような言い方もありますが、そういった視点が大事ということで、個人的に関心があります。</p> <p>やはり新都心が出来た、まだ高度成長の色合いが強かった時期から全体として今は人口減少で成熟社会となり、そうなる今出ました高齢化、三世代共生型といったものは避けて通れないと思います。</p> <p>海に近い、といったエコロジカルシティ、生態に近い都市、のような環境の話や、サステイナブルの話もありました。</p> <p>基本的なことでは恐縮ですが、サステイナブルというものの本来の意味は若い世代、将来世代のことを考えるということが主旨です。先ほどお話した</p>

	<p>ように、新規性はもちろん重要ですが同時に成熟、熟成の話もある意味日本の先端性にもなると思います。一般的な話で恐縮ですが、そのあたりも盛り込んでいくのも大事だということを、皆さんの議論も伺いながらも感じました。ありがとうございました。</p>
田中委員	<p>広井先生、ありがとうございます。エコロジカルシティ、サステイナブルという意味合いを深く考えると、先ほどの先端性、新規性にも繋がってくるという素晴らしい観点だと思いますので、後程受け止めに伺っていきたいと思います。</p>
田中委員	<p>遠藤さん、いかがでしょうか。</p>
遠藤委員	<p>ありがとうございます。2つコメントさせてください。</p> <p>1つが、先ほど馬場さんより無いものが無い、というご意見を伺いました。ベイパークのデベロッパーさんも、よくそのように宣伝しています。私もここに住んでますが、基本的にこのまちの中で色々なことが完結できるというようなことは、住んでいる人にとっても魅力です。</p> <p>さらに、まちに来る人からしても、今はまだ幕張メッセさんやZOZOマリスタジアムさんを目当てに来ている人たちが多いのかもしれませんが、都内のまちのように、無目的に来てぶらぶらしていても楽しいよねと、そのようなまちになるくらい、色々なものをこのまちでやっていければ良いと思います。</p> <p>まちに住んでいる、働いている人達だけではなく、何も考えずに休日だから幕張で過ごそう、と外から来る人達が増えたら良いと思っております。</p> <p>この調子でどんどん色々な新しいものを入れて、無いものは無い状態をむしろどんどん保ってゆきましょうよ、ということをお話を伺って思いました。</p> <p>一方で、そうなってきたときにひとつ課題なのが、意外と情報が少ないことだと思います。各場所で何が起きているのか、どういったことがあるのかということが、いまいち住んでいる者であってもアクセスできないような状況です。</p> <p>例えば学校でこういった交流のプログラムをやっていますとか、まちでイベントをやっています、スタジアムやイオンさんでこういうことをやっています、といったことが横串で分かるようなところがあれば、もっと交流、回遊のようなものが進む可能性があると思っています。</p> <p>そういった情報の分断のようなことは、無いものを無くしていく過程でより必要になっていくと思いました。</p> <p>最後に一点だけ。さきほどエリアマネジメントとして今後の継続についてのコメントがあったかと思えます。私も新参加者ですが、この会で初めて</p>



	<p>このまちで色々活動されている方々や有識者の方とお話をさせていただいて、毎回とても勉強になりました。是非こういった繋がりは今後も続けていければと思いますし、そこから新しいものが生まれてくるような気がしております。</p> <p>こういった場が続くような仕掛けは、千葉市さんにもご検討いただきたいと思います。もしかしたら個人でもお伺いするかもしれませんが、そういう場があればより情報交換がしやすいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p>
田中委員	<p>ありがとうございます。情報の分断が起きないように、という工夫は非常に重要なご指摘かと思います。ありがとうございます。</p>
田中委員	<p>続けて、豊田さん、いかがですか。</p>
豊田委員	<p>ありがとうございます。先ほどもお話したように、どうしても報告書などにまとめると、体系だとか整理をしたものになってしまいます。</p> <p>これからの社会実験的な要素・価値というのは、例えば DAO（自律分散化型組織）のような話も言われていますが、自律的である、分散的であるとか、物とか図式に落とし込めない、要は 20 世紀までの社会とか技術からするとよく使い方は分からない。しかし全部がそれに代わるということではないにしても、これからはそういったものが増えてゆきそうなこと。そこに関する実証実験とか、何らかの知見が貯まるような、皆で試せるといふところが都市としての新しい価値ということになっていくと思います。</p> <p>そういったプラットフォームに落とし込めないようなものをいかに維持していくか、僕らはノウハウを持っていないので難しいのですが、それができることが価値なのだと思います。それをうまく誘発するような仕組みとか、発信と落とし込みへの努力を、続けていただきたいと思います。</p> <p>横に繋ぐという点で、さきほど色分けではないところでも重視していただきたいと申しあげましたが、東京ベイエリア全体で、例えば横浜やお台場と、どのように繋がるか、といったところでの幕張の立ち位置、例えば埼玉や横浜と比べても、房総半島は半島であり、通過動線がないので、幕張に目的がないと来ないわけです。そういう意味で、他の地域では総花的であってもよくても、幕張ではもっと大胆に、わがままに、エッジが効いていないことが死活問題であると思います。</p> <p>千葉県はどうしても平和な、色々なバランスをとってしまうような県民性があるような感じがするのですが、むしろそこでエッジを立てていくとか、外、世界と比べた時にどういうエッジが立てられるのか、というところを、無理をしてでもやっていってほしいというのが、千葉出身の人間としても思うところです。</p>

	<p>そういう意味でも、まちのディレクションをするというか、まちづくりに対してディレクターがいるということは、なかなかないとは思いますが、あると良いと思います。どういった領域でバランスを立てるか考え、その中で責任をもって、「僕がディレクターの間はこれとこれを注力してやります」といったことが、任期毎で言えるようなものがあったりすると、外部からもフックが見えやすい。今の間はこういった領域の企業が入ってくる、といったことが戦略的に選べるということができてくると、戦略的にも、社会的な価値としてもおもしろくなるのではないかと改めて感じました。ありがとうございます。</p>
田中委員	<p>ありがとうございます。豊田先生に第1回の懇話会で見せていただいた、わくわくするような映像がまた目に浮かんできました。</p> <p>とりまとめ案から、そういったイメージを皆さんに実感していただけるように、ということと、エッジを効かせる、際立たせるといったところも、とても重要な観点だと思いました。ありがとうございます。</p>
田中委員	<p>金親さんはいかがでしょう。ご意見いただけますでしょうか。</p>
金親委員	<p>ありがとうございます。今までの皆さんからのご意見を聞いていまして、成長から成熟へ、というキーワードが出ましたけれども、個人的な感想ですが、今回のこの将来構想の原点は、おそらく成熟しきってしまったので、もういちど生まれ直したい、リボーンというか、そのあたりが今回の将来構想を作るきっかけではなかったという気がしています。</p> <p>要するに、成熟しきってしまったので、もう一度このまちを立て直す、そのために千葉市がどのように取組んでいくか、そのための構想なのだと感じました。</p> <p>そういった中で、最終的にとりまとめられている方向性だとか、取組のイメージだとかがたくさん盛り込まれているわけですが、今後はこれをどのように多くの方の意見を踏まえながら実現していくのか、というフェーズに移っていくときに、誰がそこに関わるのか、どのようにやっていくのか、という現実問題に関わっていくとすると、また悩ましいものがたくさんでてくるのではないかと気がしています。</p> <p>それからもう一点。先ほど遠藤さんよりお話がありましたけれども、せっかくこうして懇話会をきっかけに多くの方と知り合いになったり意見交換することができましたので、この地域には多くのステークホルダーがいっぱいいますので、今後のエリアマネジメントを考える上では、これをきっかけに遠藤さん達や、ここに関わった方々と、今後も意見交換ができれば良いと感じました。</p>
田中委員	<p>ありがとうございます。成熟して次なる段階ということで、この会議が始</p>

	<p>まったというところと、そこでさらに過去から未来への継承といったところで、皆さんに議論いただいたと思います。本当に大切なご指摘をいただきました。</p> <p>金親さんや遠藤さんからいただいておりますように、今後も是非リアル会議を開きたいと私自身も思っております。ありがとうございます。</p>
田中委員	土肥さんはいかがですか。
土肥委員	<p>私も、皆さんのお話を伺っていて、本当にその通りだと思えることがたくさんありました。</p> <p>まずひとつは、エリアを規定していますが、感想としては規定する必要があるのではないか、と正直に思いました。</p> <p>豊田さんもおっしゃっていたように、もっとグローバルな視点でこのまちを考えていくべきところで、具体的な案が出てきたときにはエリアを規定する必要があるかと思いますが、線で区切ったこの中でやります、としてしまうと、この構想自体がすごく狭まったものになりそうだという印象は正直ありました。</p> <p>また、元々熟成するためには何が必要かということ、エコシステムを作る必要があり、自立分散式に何か生まれてくるという状況を私たちがどう作れるか、というところが、懇話会の意味だと思っています。</p> <p>そのエコシステムを作るための仕組みというところで、先ほど豊田さんがおっしゃっていたような、ディレクターや研究者、建築家が入るとか、色々な方をこの都市に招き入れて、住んでらっしゃる方々と繋いで、そこにエコシステムが生まれてくる、というような流れが出てくると、先ほど言った熟成にも繋がります。私たちが想像し得ない新しい何か生まれる、ということが、本当に新しいことだと思います。そういったことを期待しています。</p> <p>ありがとうございました。</p>
田中委員	<p>大変貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>皆さんがエコシステムの重要性を解っていても、具体的にどのようにしたら回るのか、というところに考えが及んでいない部分もあつたりします。今回は、そこへのヒントもたくさんいただいたと感じております。</p>
田中委員	ここでもう一度、馬場さん、いかがですか。
馬場委員	<p>自立してシステムが稼働していくためにはどうすべきか、といったときに、専門家がコンソーシアムのようなものを作ってやっていくのが良いのではないかと思います。</p> <p>官民連携の状態というのが、どういうことになっているのか、よく分からなくて、それは以前からずっと疑問でした。千葉市さんにやってほしいと手</p>

	<p>を挙げる振る舞いが随所に見られるのですが、本当にそうなのかと思っています。</p> <p>市の得意なこと、民間が得意なことがあるので、そのあたりをしっかりと切り分ける。市の役割としては、民間が自立して進めていけることを妨げず、障壁を取り払っていく方に尽力していただく。市を頼るというよりも、道をつけるときのサポートをしてもらう、というようなことになれば良いなど、実現へのプロセスを考えながら思っておりました。</p>
田中委員	<p>ありがとうございます。本当に大切なご指摘で、官民連携、公民連携は、うまくいっているところもありますが、始めようとするときっかけが難しかったり、継続していくという観点で妨げになるようなことも出てきて、そのための相談窓口があったりします。</p> <p>今日はプレーヤーの皆さんもいらっしゃるので、そういったところをきめ細かく丁寧に、今後対応していただけていただけるとを望む、といったお話をいただきました。</p> <p>今後この構想の中で、そういったご意見を持つ方が、関係人材として、活躍できるような枠組みというのは是非整備していくべきだと思います。</p>
田中委員	<p>島田さんには、先ほどの観点でご意見をいただいたところですが、このお話でも結構ですし、また別な観点からでも結構ですので、ご意見を頂戴できますでしょうか。</p>
島田委員	<p>今回、3回を通じて参加させていただく中で、幕張の歴史なども立ち返って、かつては新しいことを本当に具体的にやっていたということを確認できました。そういった意味で本当に有難かったです。</p> <p>過去に色々やってきたこと、今思いつく中では、例えば電子マネーを先進的に導入しようとした、あるいは連節型のバスを日本でおそらく初めて大量輸送をしているとか、具体的に新しいことをしてきたという歴史がある中で、今後まちがもう一度生まれ変わるにあたっての、もう少しエッジが効いた、具体的にこれだ、ということ、最終的に対外発表される際には打ち出せた方が良いのではないかという思いはあります。</p> <p>あとは、あまり行政に頼るべきではないという話もあるかもしれませんが、我々はどうしても千葉市さんの施設を民間の立場で預かっているということなので、千葉市さんとの連携がないとなかなかうまく成り立たないということがございます。</p> <p>その中で、現状、コロナに対応して人と人との密を避けるために、例えば球場でイベントを行う際には、従前よりも人手をかけて少ない人を捌く、という矛盾するようなことが起きています。一か所の列にたくさんの人が入らないように、より多くの係員を配置するといったことをします。プロ野球</p>

	<p>の試合でいうと、1試合で2019年より70名くらいスタッフを増やすような計画になっております。</p> <p>本来であればネットワークを使って、もう少し非接触型で人々を迎え入れる、決済する、チェックインするといったことができれば良いのですが、その辺りのインフラの整備のようなところは官民の中で話し合っ折り返いをつけていければ、このまちならではの在り方が見えてくるのではないかと考えています。</p>
田中委員	<p>ありがとうございます。貴重な意見を皆様からいただきました。</p> <p>ひととおりご発言をいただいたところですが、他にご意見がありましたら、挙手していただけたらと思います。</p>
田中委員	<p>今、島田さんからいただいたように、私も今回の委員会に際して、幕張の歴史を見てみたところ、1976年に「学園のまち」構想というものがあり、そこから毎年毎年、このようなことが生まれました、といったニュースが一年おきにずっとありました。日々新しいことを起こして成長してきて今があるということを実感しました。</p> <p>「学園のまち」構想が標榜するように、人やビジネスを育てることに尽力されてきた結果、今の姿が出来上がったのではないかと考えておりました。</p> <p>その中で、本日皆様よりいただいたご意見として、嬉しい新しさにかなうようなビジョンの具体的な描き方をどうするのか、もう少し具体的な記載をしてみたらいかかというご意見や、深く楽しい議論によって誕生した構想の案を、どうしたら関わる人、市民、外部の方がポイントや主旨、理念・パーパスを理解してくれるように情報発信ができるだろうか、というご意見がありました。</p> <p>ここは本当にこの先の課題を提案いただいたと思います。市の関係者の中でも展開をしていく必要があると思いました。</p> <p>海上都市、社会実装という言葉も出ました。今、ちょうど2025年の万博でそれに近いようなことをそれぞれの土地でやっているかとも思います。既に幕張にはその姿の大部分があるのではないかと、ということも実感いたしました。</p> <p>色々な地域とも連携して、先進的な取組を誘発しながら、成熟したうえで出来た新しさ、未来人材と共につくる幕張の姿というのがより具現化し、色々なところに表現されればと思うところです。</p> <p>皆様から本当に貴重なご指摘をいただき、千葉市のご担当の方も驚くくらい、今回で終わりでないのではないかとこの程のさらなるご意見を頂戴できたと思います。</p>

	<p>ご質問に近いようなご意見もいただきましたので、それについてはコメントをいただければと思いますし、皆様からのご意見はいったん時間もありますので、このあたりで締めさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
田中委員	<p>千葉市の志村課長、少し質問に近いところもありましたので、皆様の議論を聞いていただいて、ご回答などがございましたらお願いします。</p>
志村 幕張新都心 課長	<p>志村でございます。多くの貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>情報発信について、お話がございました。これにつきましては、我々もこれを作ってホームページに載せて終わり、とは当然思っておりません。</p> <p>これをどのように幕張新都心に関わる方々に知っていただくか、幕張新都心の魅力を知っていただくか、そして、これからのまちづくりを自分事として自らが関わるような気持ちになっていただくか、ということが非常に大切だと思っております。</p> <p>そういった中で、この幕張新都心の魅力や、将来構想を踏まえた今後の将来の方向性といったことをより皆さんに知っていただくために、例えば動画を作ってみる、地域の方々に向けたイベントを開催してみる、既に開催している地域のイベントの中に我々が乗り込んで紹介をしていくといったことは積極的に行うということで、今、準備を進めております。</p> <p>やはり色々な方々に知っていただくための努力ということは、これからも引き続き行っていきたいと思っております。</p> <p>それから、この将来構想は当然作って終わり、ではないということは我々も認識しております。これからどのように幕張新都心をより成熟していくか、リスタートして新たな魅力を創っていくのか、といったところは引き続き考えていかなければならないものと思っております。</p> <p>そういった中で、この将来構想の中に書いてある取組イメージだけではなく、今日いただいたご意見や、これからまた新たに様々な多くの方にお話を聞いたり、そういった方々の取組などを踏まえながらこれからの大きな新しい動きも市として積極的に受け止めて、それらを応援できるような内部的な仕組みも含めて考えてゆきたいと感じたところです。</p>
田中委員	<p>ありがとうございます。多様な関係者との関係構築、関係を含めていくというところで、千葉市も前向きな対応をしてくださるということでお話を伺いました。よりこのエコシステムが円滑に流れるようなになればと思います。志村課長、大変ご丁寧にありますありがとうございます。</p> <p>情報発信についても、今は SNS ですとか、色々な情報もありますので、市民の方も含んで、適切な方に適切な形で伝わるように設計していく必要があると感じました。</p>

### (3) その他

(千葉市) 全体討議に関する感想を述べた後、事務連絡を行った。

その他	
田中委員	それでは、千葉市の神崎局長、お話いただけますでしょうか。
千葉市からの感想	
神崎 総合政策局 長	<p>ありがとうございます。3回に亘りまして、大変丁寧な議論をしていただきまして、感謝申し上げます。</p> <p>議論の中で、この構想の対象はどこかという点について、お話があったかと思えます。38ページに少し書き込みがあるのですが、拡大地区も、もちろん視野に入れておりますし、また、幕張新都心での成功を市内に広く還元していく、あるいは広く、大きく言えば世界に情報発信していくと、といったところまで視野を広げて書いているつもりでございます。</p> <p>そのところでなかなか伝わりがたい部分がありますので、全体として、皆様からご指摘をいただいた部分は書きぶりを含めて調整させていただきたいと思えます。</p> <p>これまでの3回の議論におきまして、幕張新都心の持つポテンシャルとか、これまで培ってきたステークホルダーさんとのネットワーク、こういったものを活かしながら、あらたな風をいかに吹かせて、それを取込み、文化歴史を創造していくか、といったところの重要性のご指摘が多くあったかと思えます。</p> <p>また、幕張新都心のこれまでの状況を踏まえながら引き続き、先端性、挑戦性、または実験的といった言葉もキーワードとしてございましたが、そういった意味で、様々なビジネスチャンスが得られ、また、まちとしても新たな立ち位置を作る、くらいの勢いで、というようなご指摘もあったかと思えます。</p> <p>まちが融合しながら一体化していくような仕掛けが必要ということ、この議論を通じて十分私も認識したところです。</p> <p>また、今日も様々なご意見を頂戴いたしました。自然との共生ですとか、あるいはエリアマネジメントへの期待、幕張新都心ならではの新規性と熟成のバランスのとり方、あるいはディレクター、研究者、計画デザインを担うような人材、ブランディングの必要性、次世代のまちづくりを担う方々にいかに参画していただくのか。さらに情報発信の仕方についても十分留意して行うということで、ご指摘をいただいたところでございます。</p> <p>こういったご意見を可能な限り構想の中に活かしていくということと、あるいは、ある部分につきましてはこの計画を実践する中で、留意点として取り組んでいくと、いうところに活かさせていただく部分もあるかという</p>

	<p>ふうに感じております。</p> <p>この3回の議論を通じまして、私共、大きな気づきをいただいたと認識しております。ご意見を活かしながら、さらなる構想のブラッシュアップを進めてまいりたいと思いますので、皆様方には引き続きお力添えをいただきたいと思います。</p> <p>皆様、どうもありがとうございます。</p>
田中委員	<p>神崎局長、皆様のご意見を聞いていただいて、また、メッセージを賜りまして、ありがとうございました。</p>
田中委員	<p>今回、専門性や本業での知見はもとより、みなさまの幕張に対する愛情を感じました。アイデアや意見をたくさんお話しくださり、本当に闊達なご議論ができましたこと、充実した時間になったと感謝しております。</p> <p>今日をもって新しい宿題も出たかと思えますけれども、この構想案がさらに魅力的なものにまとまって、発信も推進していけるということを期待します。</p> <p>また、私も皆様方との出会いは、コロナ禍での楽しい一つの出来事のように思っております。是非皆様に言っていただいたように、幕張で近い将来、リアルに皆様とお会いしてお話が出来たらと願っております。</p> <p>本日は、第3回目、そして最終回となりますけれども、皆様のご協力と、ご支援に御礼を申し上げまして、ここで事務局に進行をお返ししたいと思います。どうもありがとうございます。</p>
<b>事務連絡</b>	
運営事務局	<p>田中先生、ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様、有識者・関係者の皆様、どうもありがとうございました。</p> <p>それでは最後、今後のことも含めまして、志村課長より一言いただければと思います。志村課長、よろしく願いいたします。</p>
志村 幕張新都心 課長	<p>皆様におかれましては本日、多様な意見をいただきまして、本当にありがとうございました。</p> <p>これまで3回の懇話会にご出席いただきましたことを含めまして、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>本日、お時間の関係でお話いただけなかったご意見、ご感想がございましたら、また別途頂戴いただければ、今後の幕張新都心将来構想の策定や、それを実践していく中で活かしていきたいと思えます。その対応につきましては、事務局よりご案内いたしますので、引き続きご意見等いただければと思います。</p> <p>また、懇話会は今回にて終了となりますが、この将来構想によるまちづくりは、これで終わりではなく、これからが大切なものと我々は感じていると</p>



ころです。引き続き様々な場面でご協力を賜ればと思います。どうぞよろしく  
お願いいたします。

またこの将来構想を策定した折には、委員の皆様にはきちんとお知らせ  
させていただきます。

本日はありがとうございました。

—閉会—